

東北地方 1か月予報

(1月31日から2月29日までの天候見通し)

平成16年1月30日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

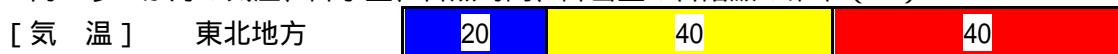
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置が続きますが、強い寒気の南下は一時的でしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か少ない、東北日本海側の降雪量は平年並か少ないでしょう。

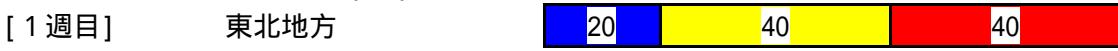
週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目共に平年並か高い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 1月31日(土)～2月29日(日)

1週目 : 1月31日(土)～2月 6日(金)

2週目 : 2月 7日(土)～2月13日(金)

3～4週目 : 2月14日(土)～2月27日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は2月6日

3か月予報:2月25日(水) 14時00分

暖候期予報:2月25日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温()		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.9	57.8	151.8	28	0.2	0.6	1.2
新庄	-0.9	151.4	60.7		-1.6	-1.2	-0.6
若松	-0.3	71.3	103.7	118	-1.1	-0.7	0.0
深浦	-0.2	80.7	52.4	72	-1.0	-0.6	0.1
青森	-1.1	121.3	78.6	225	-1.9	-1.5	-0.7
むつ	-1.5	88.6	98.7		-2.2	-2.0	-1.1
八戸	-0.9	54.4	141.6	60	-1.7	-1.3	-0.5
秋田	0.2	96.7	70.1	87	-0.6	-0.1	0.5
盛岡	-1.6	56.5	138.3	60	-2.5	-2.0	-1.1
宮古	0.3	79.4	162.7	43	-0.4	-0.1	0.6
酒田	1.5	120.2	64.5	65	0.9	1.2	1.8
山形	-0.2	72.0	106.7	97	-0.9	-0.5	0.1
仙台	1.7	48.9	162.0	30	1.0	1.5	2.1
石巻	0.9	44.4	174.6		0.1	0.6	1.3
福島	1.8	51.1	155.6	38	1.0	1.5	2.2
白河	0.5	41.6	165.0		-0.3	0.2	0.9
小名浜	3.7	61.6	186.6	0	3.1	3.4	4.0

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.5	79~110	96~104	75~119
東北日本海側	-0.3~+0.5	92~108	91~107	78~121
東北太平洋側	-0.4~+0.6	64~117	99~103	64~122

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.8	-0.8~+0.9	-0.6~+0.7
東北日本海側	-0.6~+0.8	-0.8~+0.9	-0.6~+0.7
東北太平洋側	-0.5~+0.9	-0.7~+0.9	-0.5~+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年1月30日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(1月31日~2月29日) :

冬型の気圧配置が続きますが、強い寒気の南下は一時的でしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(1月31日~2月6日) :

明後日(2月1日)まで高気圧に覆われ晴れる所が多いですが、2月2日頃気圧の谷の影響で雪や雨が降るでしょう。その後冬型の気圧配置となって、東北日本海側は雪の所が多いでしょう。東北太平洋側の沿岸部は、概ね晴れる見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目(2月7日~2月13日) :

冬型の気圧配置は長続きしないでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が少なく、東北太平洋側は晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(2月14日~2月27日) :

冬型の気圧配置が続きますが、強い寒気の南下は一時的でしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

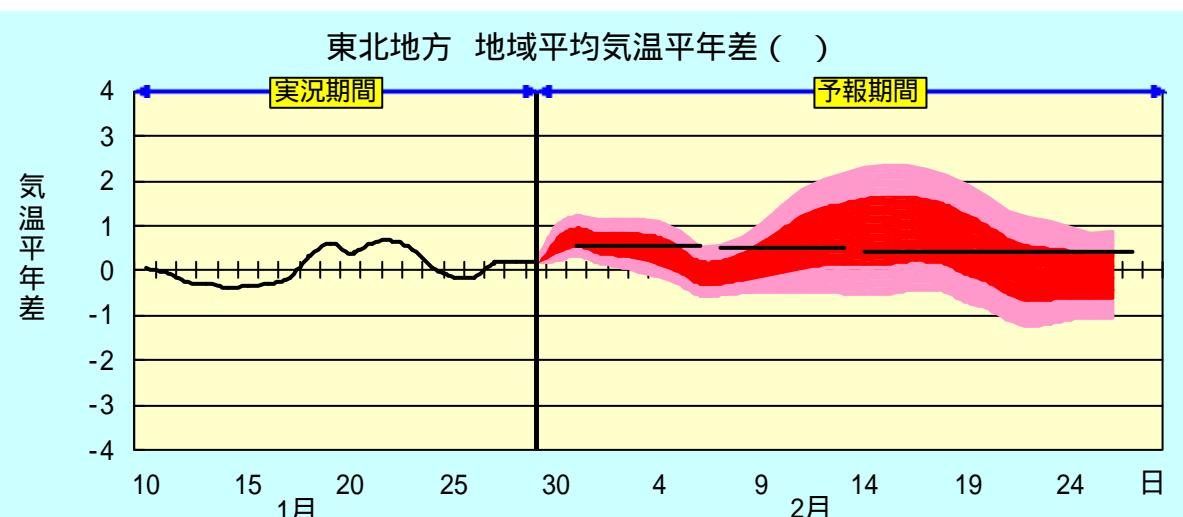
平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	6.3日	1.3日	1.4日	3.6日
東北太平洋側	17.9日	4.6日	4.7日	8.6日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から各週共「平年並か高い」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

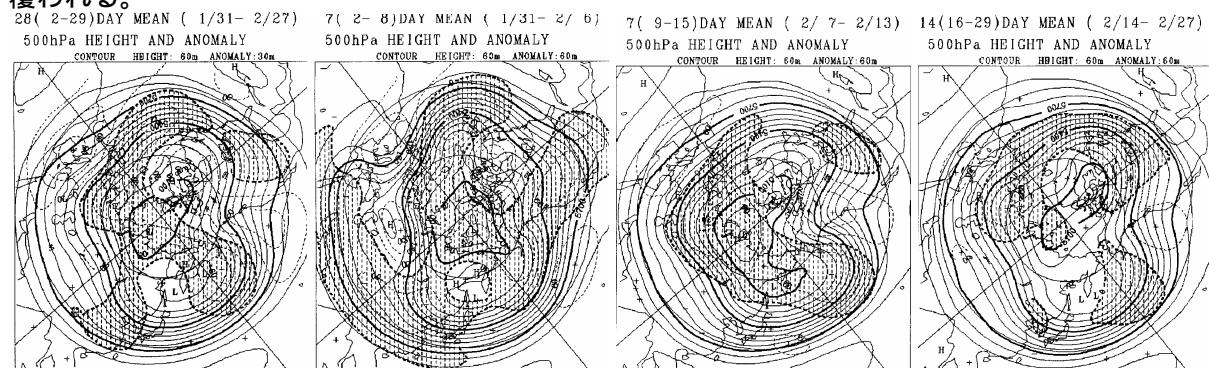


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では極付近に負偏差が広がり、寒気蓄積場となって強い寒気の南下は一時的。大陸から東シナ海や日付変更線付近は負偏差が広がるが、日本付近は正偏差に覆われる。

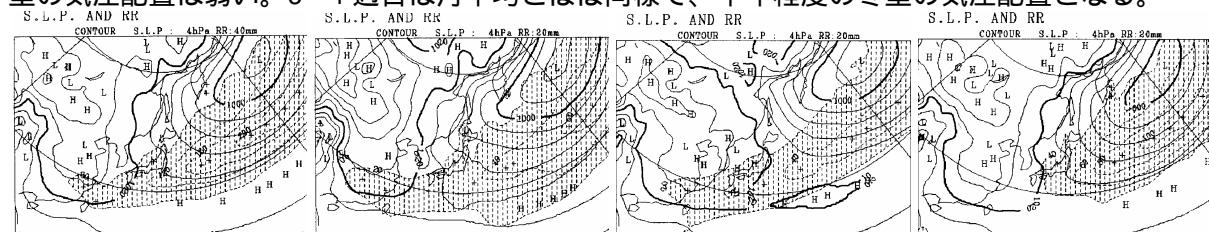
週別に見ると、1週目は大陸の負偏差が日本付近まで広がる。2週目は、日本付近は東西に広く正偏差に覆われる。3~4週目も、朝鮮半島付近は負偏差だが、日本を含む極東域が広く正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、大陸に高気圧、アリューシャン付近に低気圧があって、日本付近は平年程度の冬型の気圧配置。降水域は、日本の南海上と日本海側にかかる。

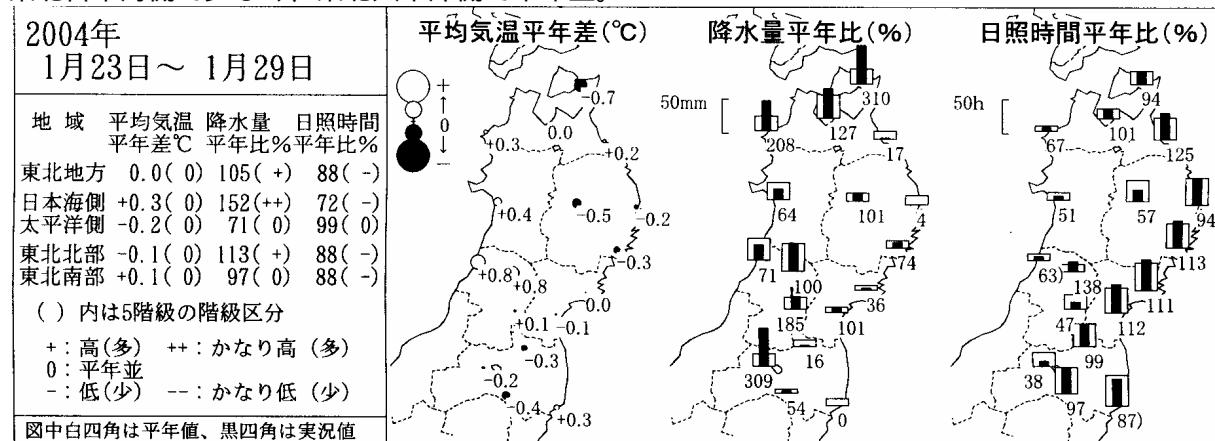
週別に見ると、1週目は冬型の気圧配置。2週目は、大陸の高気圧が日本付近まで張り出し、冬型の気圧配置は弱い。3~4週目は月平均とほぼ同様で、平年程度の冬型の気圧配置となる。



4. 最近1週間（1月23日～1月29日）の天候の経過

この期間は冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は雪となったが、東北太平洋側は概ね晴れた。特に、23日は強い寒気が南下して冬型の気圧配置が強まり、東北地方は荒れた天気となった。

平均気温は平年並。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)